

短報 Short Communication

鳥取県沿岸と周辺海域で記録された海洋動物（2010年～2011年）、 および大型ヤリマンボウ

川上 靖^{1*}・一澤 圭¹

Marine animals recorded in the Sea of Japan around Tottori Prefecture from 2010 to 2011, with notes on a large specimen of Sharptail Mola collected off Sakaiminato

Yasushi KAWAKAMI^{1*} and Kei ICHISAWA¹

Abstract: Marine animals, such as *Grampus griseus*, *Mobula japonica*, *Regalecus glesne*, *Assurger anzac*, and *Haliphron atlanticus*, were recorded in the Sea of Japan around Tottori Prefecture from 2010 to 2011. An individual of Sharptail Mola (220 cm in total length; 500 kg in body weight), *Masturus* sp. (Tetraodontiformes: Molidae), was collected in the Sea of Japan off the San'in district on 4 October 2011, representing the largest specimen found in the Sea of Japan.

Keywords: stranding, Tottori Prefecture, the Sea of Japan, Sharptail Mola

鳥取県立博物館では、鳥取県およびその近隣の海岸における大型海洋動物の記録を取り続けている（川上 2002; 川上ほか 2004, 2006, 2008; 川上・一澤 2010）。本報告は、当館が確認した、2010年から2011年の鳥取県沿岸に漂着した大型動物と日本海における稀な種の記録である。

■漂着動物と稀種の記録（2010年～2011年）

表1に、2010年1月1日から2011年12月31日の間に鳥取県沿岸および近隣域に漂着した大型の海洋動物と混獲などで確認された日本海における稀な種をまとめた。

哺乳類では、ハナゴンドウ *Grampus griseus* の新生仔の漂着があった（図1-A）。ハナゴンドウは、鳥取県では2004年以前は確かな記録がないが、2005年6月に生きた個体が迷入し（川上ほか 2006）、2006年2月には死亡個体が漂着している（川上ほか 2008）。

爬虫類では、アカウミガメ *Caretta caretta* とアオウミガメ *Chelonia mydas mydas* の漂着があった（図1-B）。アオウミガメについては、2000年以前は確かな記録がなく、2001年以降はほぼ毎年記録されるようになった。

魚類で珍しいものとしては、イトマキエイ *Mobula japonica* の混獲があった（図1-C）。本種の日本海にお

ける記録は、極めて少なく、鳥取県近海では1965年10月18日に鳥取県賀露沖で捕獲された標本が鳥取県立博物館に保管されているほか、2007年11月に島根県浜田市沖でみつかった程度である。今回、兵庫県新温泉町沖で本種が混獲された2010年10月1日の2日前になる2010年9月29日には、島根県出雲市十六島町沖でも体盤幅約2mのイトマキエイが定置網で混獲されている（読売新聞 2011年11月13日付）。短い期間内に、日本海山陰沖で複数個体が混獲されたことは興味深い。

2010年5月6日に漂着したリュウグウノツカイ *Regalecus glesne* は全長446cmとかなり大きく、当館が調べた限り、鳥取県に漂着した本種の中で過去最大である（図1-D）。リュウグウノツカイについては、2010年1月27日、兵庫県香住町余部の約1km沖の定置網に2個体がかかり、香住漁港西港に水揚げされている（日本海新聞 2010年1月29日付）。この2個体の全長は4.2mと3.2mと、大きなサイズであった。リュウグウノツカイ、サケガシラ属 *Trachipterus* sp. というアカマンボウ目魚類は、2008年から2009年に比較的多く漂着したが（川上・一澤 2010）、この傾向は2010年にも確認された。

そのほか、おもに亜熱帯から熱帯域に生息してお

¹ 鳥取県立博物館 〒680-0011 鳥取市東町2-124

Tottori Prefectural Museum, Higashi-machi 2-124, Tottori, 680-0011 Japan

* E-mail: kawakamiy@pref.tottori.jp

[受領 Received 19 December 2011 / 受理 Accepted 13 February 2012]

表 1. 鳥取県沿岸および近隣域に漂着した海洋動物と確認された日本海の稀な種 (2010 年～ 2011 年)

大分類	種 類	個体数	場 所	サイズ・性別	発見日	備 考
哺乳類	ハナゴンドウ <i>Grampus griseus</i> (クジラ目マイルカ科)	1	【漂着】鳥取市気高町八束水 姉泊海岸	全長:175.5 cm 体重:56 kg 性別:メス	2010年1月9日	図1-A. 新生仔. 個体は国立科学博物館が収蔵.
	アカウミガメ <i>Caretta caretta</i> (カメ目ウミガメ科)	1	【漂着】鳥取市 白兔海岸	直甲長:78.5 cm 曲甲長:82.4 cm 直甲幅:65.0 cm 曲甲幅:80.3 cm	2011年10月26日	口からローブを飲み込み、その先端が排泄口から出ている。
爬虫類	アオウミガメ <i>Chelonia mydas mydas</i> (カメ目ウミガメ科)	1	【漂着】鳥取市 白兔海岸	直甲長:約70 cm 曲甲長:約73 cm 直甲幅:約55 cm	2010年12月10日	発見時、すでに腐乱死体。
		1	【漂着】岩美郡岩美町 牧谷海岸	直甲長:44 cm 直甲幅:37 cm	2011年5月31日	図1-B. ライブストランディング. 計測後、安全な場所に放流.
	イトマキエイ <i>Mobula japonica</i> (トビエイ目トビエイ科)	1	【混獲】兵庫県美方郡新温泉町沖	全長:120 cm 体盤幅:170 cm	2010年10月1日	図1-C. 剥製標本として保管(登録番号:TRPM-AP-0000039).
		1	【漂着】境港市栄町 境水道	全長:138 cm 体重:3.2 kg	2010年1月11日	旋回して泳いでいるところを引き上げ.
	サケガシラ属 <i>Trachipterus</i> sp. (アカマンボウ目 フリソデウオ科)	1	【漂着】鳥取市賀露	—	2010年2月14日	
		1	【漂着】東伯郡琴浦町菊港	—	2010年4月18日	
		1	【漂着】鳥取市賀露	全長:137 cm 体重:3.3 kg	2010年4月10日	
		1	【漂着】岩美郡岩美町 大谷海岸	全長:135 cm	2011年4月8日	
魚類	リュウグウノツカイ <i>Regalecus glesne</i> (アカマンボウ目 リュウグウノツカイ科)	1	【漂着】鳥取市気高町八束水 船磯港の砂浜	全長:446 cm	2010年5月6日	図1-D. わずかに口や背鰭を動かす程度の衰弱状態. 冷凍保管.
	ナガユメタチモドキ <i>Assurger anzac</i> (スズキ目タチウオ科)	1	【混獲】鳥取・島根県境美保関 (定置網)	全長:219 cm 体重:2.42 kg	2010年11月26日	冷凍保管.
	マンボウ <i>Mola mola</i> (フグ目マンボウ科)	1	【混獲】兵庫県美方郡新温泉町 釜屋沖(水深 35 m, 定置網)	全長:72.2 cm 体高:46.0 cm	2010年1月31日	
		1	【混獲】兵庫県美方郡新温泉町 釜屋沖(水深 35 m, 定置網)	全長:51.2 cm 体高:25.1 cm	2010年11月19日	図1-E. 幼魚.
	ヤリマンボウ属 <i>Masturus</i> sp. (フグ目マンボウ科)	1	【混獲】兵庫県美方郡新温泉町 釜屋沖(水深 35 m, 定置網)	全長:135.5 cm 体高:70.7 cm 性別:メス	2010年11月21日	
		1	【混獲】日本海(山陰沖)	全長:約220 cm 体重:約500 kg	2011年10月4日 (水揚げ)	図2. 日本海新聞掲載 (2011年10月8日付).
頭足類	カンテンダコ <i>Haliphron atlanticus</i> (タコ目カンテンダコ科)	1	【混獲】島根半島10マイル沖 (まき網)	外套長:35 cm 腕長:50 cm	2010年4月6日	図1-F.

り、日本海では数例しか記録のないナガユメタチモドキ *Assurger anzac* が混獲された。また、採集記録の極めて少ないカンテンダコ *Haliphron atlanticus* も混獲された(図1-F)。

■ヤリマンボウ属の大型個体の記録

2011年10月4日に、鳥取県境港市の境港にヤリマンボウ属 *Masturus* の大型個体(全長約220 cm, 体重約500 kg)が水揚げされた(図2)。日本周辺海域において捕獲・漂着のあったヤリマンボウ類は、ほとんどが100～150 cm程度のものであり(川上2002)、当館が

調べた限り200 cmを超える個体は報告されていない。

本属は、ヤリマンボウ *Masturus lanceolatus* の1種からなるという説と、ヤリマンボウとトンガリヤリマンボウ *M. oxyuropterus* の2種からなるという説があり、分類は未解決のままである(Fraser-Brunner 1951; Nelson 1994)。この度の大型個体の尾部の舵鰭の張り出し具合はゆるやかであり、この形状はトンガリヤリマンボウの記載の特徴とよく似ている。

ヤリマンボウ属の最大サイズは全長337 cmである(Tortonese 1990)。ヤリマンボウとトンガリヤリマンボウを分けている Fraser-Brunner (1951)によると、ヤリ

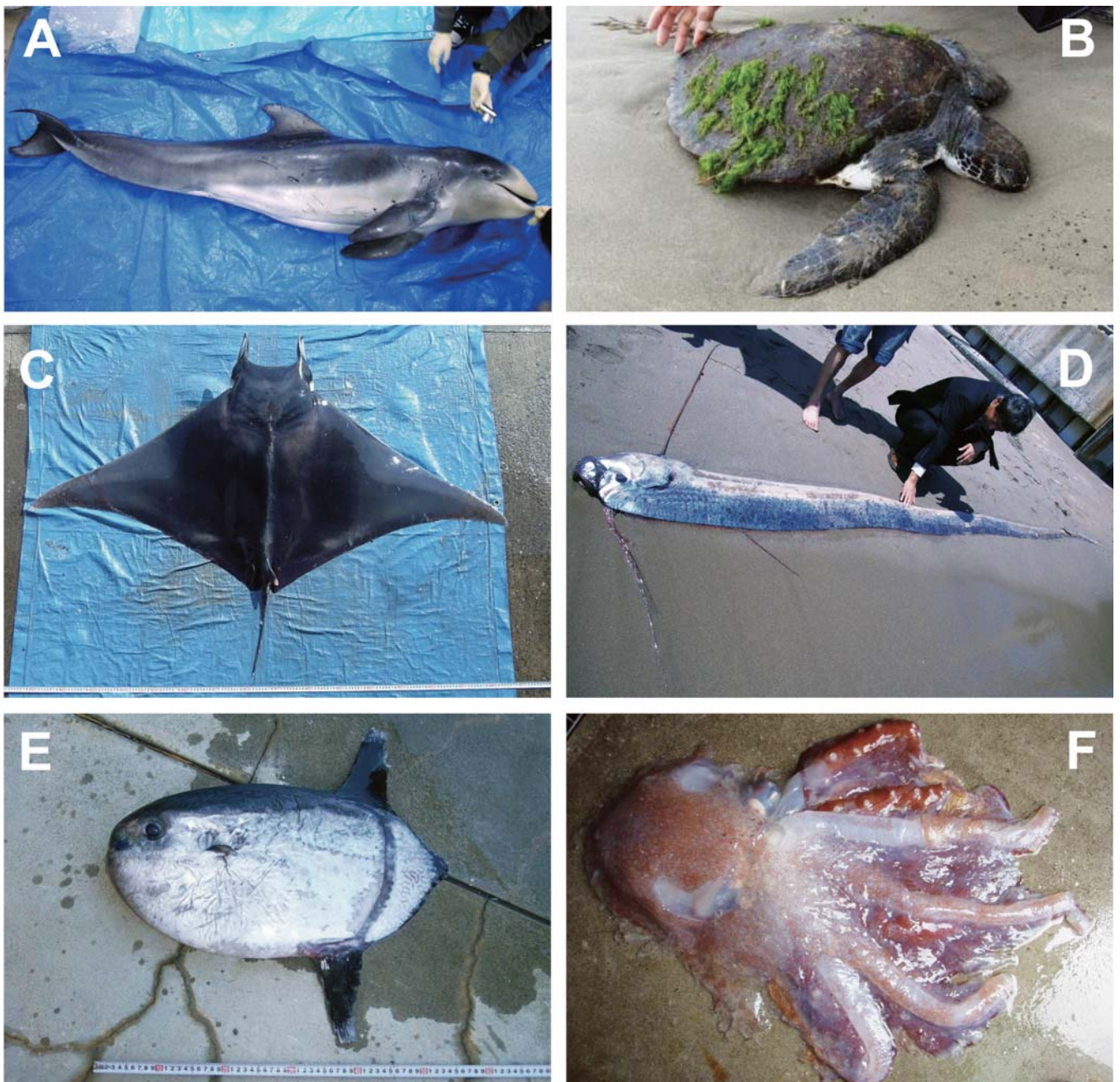


図1. 鳥取県および近隣域における漂着動物と混獲された稀な種. A: ハナゴンドウ（鳥取市気高町八束水 姉泊海岸, 2010年1月9日）, B: アオウミガメ（岩美郡岩美町 牧谷海岸, 2011年5月31日／撮影：和田年史）, C: イトマキエイ（兵庫県美方郡新温泉町沖〔混獲〕, 2010年10月1日／撮影：和田年史）, D: リュウグウノツカイ（鳥取市気高町八束水 船磯港の砂浜, 2010年5月6日）, E: ヤリマンボウ属幼魚（兵庫県新温泉町釜屋沖〔混獲〕, 2010年11月19日／撮影：和田年史）, F: カンテンダコ（島根半島沖〔混獲〕, 2010年4月6日／撮影：志村健）.

マンボウの最大サイズの記録は全長 10 ft（約 300 cm）で、トンガリヤリマンボウのそれは、正確性に疑問があるが 7 ft（約 210 cm）の記録があることが報告されている。近年の台湾におけるヤリマンボウの年齢と成長の研究では、371 個体中、体長 171～180 cm が 3 個体、181～190 cm が 1 個体、191～200 cm が 2 個体であり、年齢はそれぞれ 20～21 歳、22 歳、22～23 歳と推定されている（Liu et al. 2009）。体重ではもっとも重い個体が 409 kg である。この Liu らの解析には、全長では

なく、舵鰭を除いた体長が用いられている。本報告の境港水揚げ個体の舵鰭長を仮に 40～50 cm と見積もったとすると、体長は 170～180 cm となり、年齢は 20～21 歳に当てはまる。

■謝辞

海洋動物の情報収集および調査については、次の方々にお世話になった：宇野政美氏（兵庫県）、畑中恒信氏（鳥取市気高町）、増田紳哉氏・下山俊一氏・



図2. 鳥取県境港に水揚げされたヤリマンボウ属の大型個体 (2011年10月4日). 全長約220 cm.
写真: 新日本海新聞社提供/撮影: 酒井建治.

志村健氏・太田太郎氏をはじめとする鳥取県水産振興局の職員の皆さま, 和田年史氏をはじめとする鳥取県立博物館の職員の皆さま。以上の方々に深く感謝の意を表する。

最後に, ヤリマンボウの写真掲載を承諾いただいた新日本海新聞社に厚くお礼申し上げます。

■引用文献

- Fraser-Brunner, A. (1951) The ocean sunfishes (family Molidae). *Bulletin of the British Museum (Natural History) Zoology*, 1(6): 87-121.
- 川上 靖 (2002) 鳥取県沿岸に多数漂着したヤリマンボウ属 (予報) とその他の漂着動物 (2000年4月~2002年3月). 鳥取県立博物館研究報告, 39: 37-42.
- 川上 靖・平尾和幸・清末幸久 (2004) 鳥取県沿岸における漂着動物の記録 (2002年4月~2003年12月). 鳥取県立博物館研究報告, 41: 1-8.
- 川上 靖・一澤 圭 (2010) 鳥取県沿岸に漂着した大型海洋動

物 (2008年~2009年) とウミガメ類の産卵記録. 鳥取県立博物館研究報告, 47: 83-86.

川上 靖・一澤 圭・安藤重敏 (2008) 鳥取県沿岸に漂着した大型動物および漁獲された稀な動物の記録 (2006年~2007年). 鳥取県立博物館研究報告, 45: 17-22.

川上 靖・清末幸久・一澤 圭・平尾和幸・安藤重敏 (2006) 鳥取県沿岸における漂着動物 (2004年1月~2005年12月) とアカウミガメに付着していた暖海性紅藻類トゲキヌイトグサ *Antithamnion tanakae*. 鳥取県立博物館研究報告, 43: 1-5.

Liu, K.M., Lee, M.L., Joung, S.J. and Chang, Y.C. (2009) Age and growth estimates of the sharptail mola, *Masturus lanceolatus*, in waters of eastern Taiwan. *Fisheries Research*, 95 (2-3): 154-160.

Nelson, J. S. (1994) *Fishes of the world*, 3rd edn. Wiley, New York.

Tortonese, E. (1990) Molidae. p. 1077-1079. In: J.C. Quero, J.C. Hureau, C. Karrer, A. Post and L. Saldanha (eds.) *Check-list of the fishes of the eastern tropical Atlantic (CLOFETA)*. JNICT, Lisbon; SEI, Paris; and UNESCO, Paris. Vol. 2.